

## ベトナム絹絵画家グエン・ファン・チャン 絵画修復プロジェクト展



1

展覧会名	ベトナム絹絵画家グエン・ファン・チャン 絵画修復プロジェクト展		
会 期	2011年10月22日(土) → 2012年2月12日(日)		
	開場時間 / 10時～18時(金・土曜日は20時まで)		
	休 場 日 / 月曜日(ただし、1月2日、9日は開場)12月29日～1月1日、10日		
会 場	金沢21世紀美術館 デザインギャラリー	料 金	無 料
出品点数	3点(修復作品)、プロジェクト記録映像		
主 催	金沢21世紀美術館 [(公財)金沢芸術創造財団]		
後 援	ベトナム社会主義共和国大使館、日本ベトナム友好協会石川県支部、NHK金沢放送局		
協 力	三谷産業株式会社、株式会社クリエイティブ・ポジション・コア、シーシーエス株式会社		
お問い合わせ	金沢21世紀美術館 TEL076-220-2800		

本資料に関する  
お問い合わせ

金 沢 2 1 世 紀 美 術 館 展覧会担当／高橋 広報担当／黒田・落合・沢井  
〒920-8509 金沢市広坂1-2-1  
TEL 076-220-2814 FAX 076-220-2806  
<http://www.kanazawa21.jp> E-mail: [press@kanazawa21.jp](mailto:press@kanazawa21.jp)



## 展覧会について

## ベトナムを愛する想いがつないだ修復プロジェクトを紹介

グエン・ファン・チャンはベトナムが誇る近代絹絵のバイオニアとして知られる画家です。「ベトナム絹絵 画家グエン・ファン・チャン 絵画修復プロジェクト展」では、彼が家族のもとに遺した作品3点が日本の多くの有志の熱い思いによって修復されるまでを紹介します。グエン・ファン・チャンの絹絵は、絹地に水彩で描かれ、何度も画面を洗浄しながら描くというその独特の手法ゆえ、温湿度や光の影響を受けやすく、高温多湿の本国では傷みの進行が懸念されていました。今回修復が試みられた3点を初公開するとともに、3年に渡る困難な修復への道程を綴るドキュメンタリー映像によって、ベトナムを愛する日本の民間の人々の力で成し遂げられた偉業をお伝えします。

## 展覧会の特徴

## 本プロジェクトの過程を追った記録映像を上映

修復プロジェクトの中心メンバーにより撮影された映像で、遺族から作品修復の依頼を受けるところから、実際の修復過程までの3年間を克明に取材されたドキュメントです。ベトナムで撮影されたグエン・ファン・チャンの遺族が思いを語る映像や修復家による実際の修復作業の映像など、貴重な映像資料となっています。

## ベトナムの風土を想起させる展示空間

グエン・ファン・チャン絵画が生み出されたベトナムの自然な光を感じさせるような空間を意識的に作りだしました。貴重な修復作品を保護するため、本展のために特別に加工したLEDを使用し、照度は50ルクスに抑えながらも、作品が持つ空気感を光によって引き出しています。

## 作家プロフィール

## グエン・ファン・チャン (1892-1984)

1925年、フランス・インドネシア領であったハノイに設立されたインドシナ美術学校の一期生である彼は、西洋の造形技法と東洋の平面的な画法を組み合わせた全く新しい技法を開拓し、ベトナム近代絹絵というジャンルを創出しました。グエン・ファン・チャンは、絹地に水彩絵の具で描いては水で洗い流し、また描く作業を何度も繰り返すという独特の手法を用い、戦渦の厳しい時代においても前向きな気持ちを失わず、村に暮らすベトナムの女性たちの姿を見つめ、描き続けました。

## 関連プログラム

## オープニングトーク「修復がつなぐベトナムと日本の架け橋」(一般非公開)

※終了しました。

[日 時] 2011年10月22日(土)18:30~19:30

[会 場] 金沢21世紀美術館 シアター21

[ゲスト] 岩井希久子(IWAI ART 保存修復研究所)、白崎良明(日本ベトナム友好協会石川県支部会長)

[司 会] 秋元雄史(金沢21世紀美術館館長)

## 出品作品

修復された作品は、遺族が所有する多くのグエン・ファン・チャン作品の中から特に修復を希望する3点を選びだしたものです。家族が特に大切に思い、修復してほしいと願った作品です。

2



## 《牛に乗って川を渡る女》

農作業を終えた女性が、牛を水浴びさせながら家路につくところであろう。夕日に染まる川を渡る女性の姿がみずみずしく描き出されています。遠くの水平線が画面に奥行きを作り出しています。

《牛に乗って川を渡る女》(修復前)1967年  
彩色、絹 H71.8 x W51.9cm  
三谷産業株式会社蔵  
©Nguyen Nguyet Tu

3



## 《船を燻す女》

木造船づくりの最終段階として船を燻す作業を行う女性の姿が描かれています。連なる船の勇姿を大きく描き、女性の姿はあえて小さく描くことによって、壮大な仕事の一場面であることがより強調されています。

《船を燻す女》(修復前)1938年  
彩色、絹 H43.9 x W27.8cm  
グエン家蔵  
©Nguyen Nguyet Tu

## 《薪を取りに行く》

グエン・ファン・チャンが得意とする構図の一つで、横長の画面に人物が並び、みな同じ方向を見つめ、歩み進んでいる姿が描かれています。しっかりとした足取りに、共に働くことへの誇りが感じられます。

4



《薪を取りに行く》(修復前)1938年  
彩色、絹 H26.7 x W80.2cm  
グエン家蔵  
©Nguyen Nguyet Tu

## 広報用画像

画像1～6を広報用にご提供いたします。

ご希望の方は下記をお読みの上、広報室へお申し込みください。

Email: [press@kanazawa21.jp](mailto:press@kanazawa21.jp)

## ＜使用条件＞

※広報用画像の掲載には各画像のキャプションとクレジットの明記が必要です。

※トリミングはご遠慮ください。作品が切れたりキャプション等の文字が画像にかぶったりしないよう、レイアウトにご配慮ください。

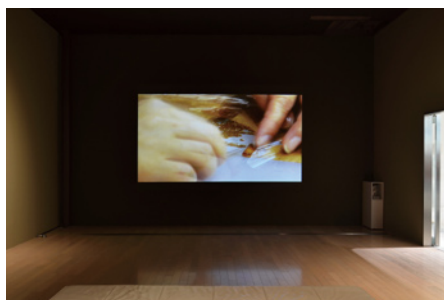
※情報確認のため、お手数ですが校正紙を広報室へお送り下さい。

※アーカイブの為、後日、掲載誌(紙)、URL、番組収録のDVD、CDなどをお送りください。

以上、ご理解・ご協力の程、何卒よろしく願いたします。



5



6

1,5,6

「ベトナム絵画家グエン・ファン・チャン  
絵画修復プロジェクト展」展示風景